

市長が台湾訪問 観光誘客・交流促進を目指す

11月22日から24日の3日間、観光誘客や都市交流促進のため、鈴木市長が台湾を訪問しました。

初日は台北市の旅行会社を訪れ、本市のゴルフ場などをPRし、現地の担当者は四季を感じられる自然豊かなコースに関心を示していました。最終日は「白河区」という地名がある台南市を表敬訪問し、呉欣修（ウーシンシュ）市長との懇談では、両市の交流を進めることで意見が一致しました。

市では、中学生国際交流事業として3月に台南市へ生徒を派遣し、現地中学生との交流を行う予定です。



▲台南市呉秘書長（前列右）と鈴木市長（同左）

日本一遅い天狗山山開き 晩秋の里山散策を楽しむ

11月23日、うつくしま百名山に数えられる天狗山（標高626m）で『日本一遅い山開き』が行われ、県内外から約300人の登山愛好家が参加しました。

里山に足を運び、慣れ親しんでもらおうと「おもてごう里山クラブ」が始めたこのイベントは、今年で10周年を迎え、これを記念し、参加者には天狗の顔がモチーフの特製ピンバッジが贈られました。

下山後には豚汁が振る舞われたほか、地元の特産品が当たるおたのみ抽選会も開かれました。



▲整備された沢沿いの登山道を歩く参加者

白河駅前イルミネーション点灯式 フォトコンテスト開催中

12月1日、白河駅前イベント広場で『白河駅前イルミネーション点灯式』が行われました。街路樹や光のトンネルに飾られた約6万球のLED電球や、市内の小・中学校、企業など34団体によって様々に彩られたペットボトルツリーに明かりが灯されると、会場は美しく幻想的な光に包まれました。

また、会場内にはフォトスポットが設けられ、1月31日(水)までの点灯期間中、SNSを活用したフォトコンテストも開催されています。点灯時間は午後5時から午前0時です。



▲41基のペットボトルツリーで彩られた駅前イベント広場

れきしら解説講座 城下町白河の歴史を学ぶ

12月2日、市役所で『れきしら解説講座』が開かれました。これは、本市の歴史に対する正しい理解と郷土愛を育むため、初めて開催されたものです。

市の学芸員が講師を務め、白河歴史の手引き「れきしら」入門編をテキストに「小峰城と城下町の歴史」について解説し、市内外から集まった約100人の受講者は、メモを取りながら熱心に聞き入っていました。2月17日(土)には、「れきしら」を活用したご当地検定「第2回しらかわ検定」が行われます。



▲学芸員の解説を熱心に聞き入る受講者

しらかわ女子プチ起業マルシェ 多くの来場者でにぎわう

12月2日、マイタウン白河(本町)で『しらかわ女子プチ起業マルシェ』が開かれました。これは、産業サポート白河の起業・創業支援事業「女性のためのプチ起業セミナー」を受講し、ビジネスアイデアやマーケティング、資金計画などを学んだメンバーが中心となって開催されたものです。

会場には、手作りのパン・お菓子、ハンドメイド雑貨やアクセサリー、ネイルアートなどの34店舗が立ち並び、買物やワークショップを楽しむ多くの来場者でにぎわいました。



▲買物を楽しむ来場者

男女共同参画講演会 『ワタシのパワー』を発見

男女がともに自分らしく生きられる社会を目指し、女性の活躍を推進するため、『白河市男女共同参画講演会』が12月2日、マイタウン白河で開催されました。

当日は、女性就業支援全国展開事業講師の(有)ヒューリス代表取締役小林京子氏が「働く女性のライフステージ」と題し、講演しました。

参加者は、これまでの仕事や出来事を振り返る人生曲線を活用した自己分析によって、自分の強みや自分が必要としているものを見つけ出す方法を学びました。



▲講師を務めた小林京子氏